

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	現代社会要論（Elements of Modern Society）		
ナンバリングコード	B20305	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A032051	クラス名	-
担当教員名	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次		
履修上の注意、 履修条件	教育効果の観点から、受講生を40名に制限します。履修希望者が超過した場合は、第1回目の授業において、選考の参考資料にするためのレポート作成を行います。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加してください。受け身の姿勢では意味がありません。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	『知へのステップ 第3版—大学生からのスタディ・スキルズ—』 (くろしお出版)学習技術研究会 編著 ※社会参画入門・実習1使用教科書		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど		

○基本情報		
授業の目的	現代社会が抱える問題について、資料を基に自ら考え、また、グループで議論することにより、「社会問題を理解し、様々な意見に触れ、自分の考えを持つことができるようになる」「なぜ自分がそのような考えを持つようになったのか、理由を説明し、自分の意見として主張できるようになる」ことを目的とします。	
授業の概要	現代日本社会の根本問題ともいえる、少子高齢社会における課題について、①「高齢社会について考える」 ②「少子化を解消する」の2つのテーマを設定し、6名程度のチームによるグループワークを通じて、課題解決の提案を行います。社会的な問題に対して、提供された情報・資料および追加収集した情報を分析し、それを基に課題を発見し、その解決策を考え、論理的なストーリーを持った内容を明快にプレゼンテーションできるような能力の向上を図ります。また、チーム内で建設的な話し合いをし、協力しながら成果物を作成する能力も養います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	①自ら調べ学修ができる。 ②自分の役割を理解し、それに沿った行動ができる。			15%
【ディプロマ・ポリシー②】	①リテラシーのプロセスを獲得し、そのスキルを活用できる。 ②現代社会における問題点について、適切な手段を用いて表現することができる。	30%	20%	20%
【ディプロマ・ポリシー③】	テーマについて必要な知識を体系的に獲得でき、問題点の分析に活用することができる。	10%	5%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

--

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	現代社会要論（Elements of Modern Society） 鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次	授業コード	A032051
学修内容					
1. オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明 ○受講生決定の参考資料としてのレポート作成					
予習		シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。			約2時間
復習		ジェネリックスキル(リテラシー・コンピテンシー)について自己分析			約2時間
2. 現代社会における商店街の意義や価値(1) ○資料分析 資料を読んだ上で、商店街が衰退した原因について、複数の視点から考えをまとめる					
予習		商店街について基礎知識を整理			約2時間
復習		配付資料の再読み込み			約2時間
3. 現代社会における商店街の意義や価値(2) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○資料分析 活性化に成功した商店街の事例を読み、それぞれの商店街が成功した要因をあげ、現代社会における商店街の役割や意義に関してまとめる					
予習		前回のワークシートの書き込みを精査			約2時間
復習		配付資料の再読み込み			約2時間
4. 現代社会における商店街の意義や価値(3) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○文章作成 前2回の資料を読んだうえで、商店街が衰退した原因についてまとめ、商店街活性化のいくつかの事例を踏まえて、現代社会における商店街の意義や価値について、600字～800字程度で論じる					
予習		前回のワークシートの書き込みを精査			約2時間
復習		作成した文章を評価基準に従って推敲し、完成させる。友人2名の文章を評価。			約2時間
5. 高齢社会について考える(1) ○高齢社会の問題点・課題について自由に考える(グループワーク) ○高齢社会の背景・問題点について情報提供(教員)					
予習		高齢社会の問題点・課題について基礎知識を整理			約2時間
復習		グループワークの内容の整理			約2時間
6. 高齢社会について考える(2) ○与えられた資料を読解・分析し、高齢社会における課題を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業					
予習		情報分析			約2時間
復習		情報整理			約2時間
7. 高齢社会について考える(3) ○2030年における望ましい社会像を構想し、その方向性を実現するためのアイデアを出す(グループワーク)					
予習		追加情報の収集			約2時間
復習		アイデアの整理			約2時間
8. 高齢社会について考える(4) ○プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・模造紙に発表資料を作成					
予習		アイデアの整理			約2時間
復習		発表資料の作成			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	現代社会要論（Elements of Modern Society） 鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次	授業コード	A032051
学修内容					
9. 高齢社会について考える(5) ○プレゼンテーション「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて提案する」					
予習		発表練習			約2時間
復習		プレゼンテーションの振り返り			約2時間
10. 少子化を解消する(1) ○少子化の原因について自由に考える(グループワーク) ○少子化の背景・問題点について情報提供(教員)					
予習		少子化の原因について基礎知識を整理			約2時間
復習		グループワークの内容の整理			約2時間
11. 少子化を解消する(2) ○与えられた資料を読解・分析し、少子化の原因を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業					
予習		情報分析			約2時間
復習		情報整理			約2時間
12. 少子化を解消する(3) ○少子化解消のため目指すべき社会のビジョンを構想し、その方向性を実現するためのアイデアを出す(グループワーク)					
予習		追加情報の収集			約2時間
復習		アイデアの整理			約2時間
13. 少子化を解消する(4) ○プレゼンテーション準備「少子化を解消するための具体的な方策を構想し、まとめる」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・パワーポイント資料作成					
予習		アイデアの整理			約2時間
復習		発表資料の作成			約2時間
14. 少子化を解消する(5) ○プレゼンテーション「少子化を解消するための方策を提案する」					
予習		発表練習			約2時間
復習		プレゼンテーションの振り返り			約2時間
15. 振り返り ○グループワークおよびプレゼンテーションにおける自己の活動を振り返り、どのような能力を獲得できたかを確認する					
予習		これまでのワークシート等を見直す。			約2時間
復習		リテラシーのプロセスを確認			約2時間
16. 期末試験 ○与えられた資料を読解・分析し、時間内に課題解決策についての小論文を作成する。					
予習					
復習					